

2019年度

事業計画書

2019年3月

公益財団法人 ブルボン吉田記念財団

2019年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

(1) 学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

2019年度計画

①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。(新1年生からは、本人口座への振込みに変更) 下記学年は新学年(5年生は歯学部1名)

1年生については、第一次合格者数にて記載

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	6年生 (1名)	月額30,000円×12か月=360,000円	360,000円
	5年生 (1名)	月額30,000円×12か月=360,000円	360,000円
	4年生 (24名)	月額30,000円×12か月=360,000円	8,640,000円
	3年生 (11名)	月額30,000円×12か月=360,000円	3,960,000円
	2年生 (25名)	月額30,000円×12か月=360,000円	9,000,000円
	1年生 (25名)	月額30,000円×12か月=360,000円	9,000,000円
	合計 87名		31,320,000円

②奨学金の返還

- ・2019年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書及び返還予定書を提出指示。
- ・2018年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示及び諸通信の連絡。
- ・2019年度返還額予定額(返還予定書より算出) 16,388,000円

③第44回(2020年4月進学)奨学生募集活動計画

- ・奨学生対象エリア～新潟県、山形県、長野県、福島県全域
- ・募集人員：大学生25名
- ・募集要項の発送 10月上旬
募集要項の発送の前に、対象県の教育庁高等学校教育課を訪問し、当財団の奨学金制度についての各高等学校への周知をお願いする。
- ・対象校：高等学校395校 新潟県109校 山形県71校
長野県108校 福島県107校
- ・募集締切：2019年12月下旬
- ・第1次選考委員会：2020年1月下旬
- ・第1次選考委員会にて定員未達の場合は、2次募集を行う(締切は2月28日)
- ・2月上旬に選考結果を通知し、1次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定する。

(2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：2013年9月に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学の素晴らしさを再発見する場を提供する。

*ドナルド・キーン先生は、2019年2月24日（日）にご逝去されました。当センターでは、今後もキーン先生が取り組み続けて来られた平和への思いや日本文学、日本文化の素晴らしさを展示や講演会等を通して伝え続けて参ります。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

【ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営】

目的：キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛するドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書斎を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

開館期間 4月1日～12月25日 休館日 毎週月曜・火曜

冬季休館期間 12月26日から3月31日

年間開館日数：193日 来館者計画：2,000人

(2018年4月1日～2019年1月31日実績1,728人(前年伸張率 101.1%)

事業収入目標額 800,000円 (2,000人×400円=800,000円)

●2019年度計画

【キーン先生の日本文化・日本文学研究の「志」を多くの皆様の心に宿し、実践につなげる活動を行う】

- ①毎月一回の展示関連イベント（ミニ講演会、ギャラリートーク等）の開催。
- ②キーン先生の研究テーマに関する連続講座（古浄瑠璃連続講座）の開催
- ③センター所蔵のSPレコードやLPレコードの鑑賞会の定期開催

【企画展の計画】

目的：常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、企画展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。2019年度は、春の開館時より、「キーン先生を偲ぶ」展示を開催、その後、7月より収蔵庫資料展を開催する計画です。

●2019年度企画展

①ドナルド・キーン追悼企画展

「ドナルド・キーンの歩んだ道のり」

18歳で『源氏物語』に出会って以来、70年以上にわたり、日本文学や日本文化の素晴らしさを世界に発信し続けた日本文学研究者ドナルド・キーン先生が、2019年2月24日96歳でご逝去されました。先生の功績、人生を偲ぶ追悼展示として開催します。

主催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団

期間：2019年4月1日（月）～同年7月15日（日）

②高木四郎 文楽人形パステル画・スケッチ画展

～ドナルド・キーン 日本留学（京都時代）～

キーン先生が京都時代に交流のあった画家高木四郎。その遺品である人形浄瑠璃のパステル・スケッチ画66点が当センターに収蔵されています。キーン先生と高木四郎との出会い、交流の様子を二人の書簡と66点の人形浄瑠璃のパステル・スケッチ画を通して、キーン先生の日本文化への思いを見つめます。

主催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団

期間：2019年7月24日（水）～同年12月22日（日）

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎2階特別企画展室

【出張展示企画展（巡回展）】

他の記念館、図書館、官公庁や企業、学校等の施設にてドナルド・キーン・センター柏崎の所蔵品や過去の特別企画展にて製作した展示パネル等を一定期間貸与し、展示していただくことで、当センターの知名度向上とドナルド・キーン先生が世界に発信し続ける日本文化、日本文学への造詣を深めていただくことを目的に開催する。

さらに今年度は、開催場所にて講演会を実施することで、キーン先生の「志」を多くの皆様の心に残していく。また、講師料による収益性の向上につなげる。

2019年度計画～

①2018年後期展として開催した「ドナルド・キーン、倫敦に還る。～博士論文、近松門左衛門『国性爺合戦』翻訳と研究を巡って」展を東京都北区中央図書館にて開催。

【センター主催：ミニ講演会・定期セミナー等計画】

目的：常設展示や企画展の展示内容の深掘りやドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的で開催し、多くの皆様の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の持続性を高める。

●2019年度計画

①企画展関連「ミニ講演会」

企画展のテーマに関連した講師をお招きして開催。2019年度は、7回開催の予定。

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設を使用

定員：50名～100名

受講料：500円～（公益目的事業収益）

今年度は、キーン先生追悼企画展「ドナルド・キーンの歩んだ道のり」、収蔵資料企画展「高木四郎 文楽人形パステル画・スケッチ画展」に関連し、展示に関する専門家をお招きしての企画展関連講演会を計画。

4月 1日：「ドナルド・キーンの歩んだ道のり」1回目

講師：中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料：無料

4月13日：「キーン先生の思い出」

(予定) 講師：デイヴィット・ルーリー

コロンビア大学 ドナルド・キーン日本文化センター 所長

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設

受講料：500円

5月上旬：「ドナルド・キーンの歩んだ道のり」2回目

講師：中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料：無料

6月上旬：「ドナルド・キーンの歩んだ道のり」3回目

講師：中津 義人 ドナルド・キーン・センター柏崎副館長

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

受講料：無料

7月上旬：「キーン先生の古典文学講義に関する思い出」

(予定) 講師：デイヴィット・ルーリー

コロンビア大学 ドナルド・キーン日本文化センター 所長

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎関連施設

受講料：500円

8月中旬：「(仮) ドナルド・キーンと平和」 柏崎市、教育委員会 共催予定

(予定) 講師：クレアモント康子 シドニー大学上級講師

会場：市内施設

受講料：500円

12月下旬：(仮) アメリカの大学生が演じる三島文学の世界

講師：ローレンス・コミンズ ポートランド州立大学教授

会場：ブルボン統合研修センター大ホール(予定)

受講料：500円

②定期セミナー「古浄瑠璃連続講座：古浄瑠璃をもっと楽しむ講座」

キーン先生の研究テーマでもある近松門左衛門の浄瑠璃。その原点となる古浄瑠璃から文楽までの発祥の経緯や変遷、歴史的価値等を専門家を講師として招聘し学ぶ講座とする。

開催時期：5月から1月まで、6回の開催を予定

5月、6月、7月、8月、12月、1月

会場：ブルボン統合研修センター3階（ドナルド・キーン・センター柏崎）

講師：川村知行上越教育大学名誉教授 猿八座の皆様他

受講料：1,000円/回

定員：50名程度

③「SPレコードを聴く会」

柏崎市内のSPレコード愛好家のご協力を得て、キーン先生が愛したオペラの名曲を中心に蓄音機「クレデンザ」を使用して懐かしくも新鮮な音を楽しむ会として開催。

4月から3月まで、毎月第2土曜日 13時～13時30分。

会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎1階ロビー

【教育普及活動】

①副館長及び学芸係による展示解説会の開催

企画展の開催に合せ、毎月一回開催の予定。HP日程にて公表し、集客増にも結び付ける。

企画展開催の初日には、企画展協力者と副館長による「ギャラリートーク」を開催。

7月27日：ギャラリートーク 「画家 高木四郎について」

講師：中村芳治・まり子夫妻（高木四郎ご遺族）

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎2階 特別企画展示室

受講料：無料

その後、8月、9月、10月、11月、12月に予定。会場は、ドナルド・キーン・センター柏崎2階企画展示室。参加費は、無料。ただし、入館料は必要。

②小中高校生向けの授業の一環としての「勉強会」の開催

「柏崎学」の一環として柏崎市教育委員会に協力要請。

ドナルド・キーン先生の「人となり」について、小学校（国語、道徳）、中学校・高校（英語）の教科書に取り上げられていることをきっかけとして、各学校に対し、案内を行い来館につなげる。（勧誘する地域は、今年度は、柏崎市とする）

勉強会は事前申し込み制として、副館長又は学芸係他スタッフが説明にあたる。なお、見学料は無料とする。

【研究活動計画】

①展示資料及び収蔵資料のデータ化の完成とHP上での情報公開をすすめる。

②展示資料及び収蔵資料についてのキーン先生とのつながり（縁）の調査をすすめる。

③キーン先生の過去の講演録及び映像の一覧化をすすめる。

④財団報の作成準備。

【PR活動計画】

①柏崎市内の商店及び事業者への企画展ポスター、チラシの配布と掲示活動。

柏崎市内での周知向上を図る目的で、ボランティアの皆様の協力を得て実施する。

②旅行会社にむけて、パンフレットを発送。JR東日本観光キャンペーン「日本海美食旅」の実施により、柏崎や新潟県内の「食」や他、観光スポットを巡る観光企画の誘導（柏崎市商業観光課、一般社団法人柏崎観光協会の協力も必要）を検討する。

③柏崎市の観光タクシー「ちょっ得タクシー」への協力（4月1日～12月25日）

④柏崎コミュニティ放送「柏崎発！ドナルド・キーンの世界」の継続により、地元での当センターの周知とキーン先生の理解度を深める。

⑤広告掲載（投入）

・ラジオ広告 BSN 新潟放送 期間 2019年4月1日～11月25日
全県20秒×63本

・新聞広告 新潟日報 2019年4月、8月、10月 2020年3月
柏崎日報 2019年4月、8月、10月 2020年3月

柏新時報 2019年4月、8月、10月 2020年3月
読売新聞、朝日新聞について、県内広告代理店枠を利用した掲載を随時
継続する。

- ・その他、観光・旅行雑誌への掲載を随時検討する。

【地域連携への強化活動】

目的：ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様
様に有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

●2019年度計画

- ①古典を読む会公開講座開催への協力
- ②朗読会グループ「新潟ルネッサンスの会」朗読会開催の協力（会場提供）
- ③柏崎市内で開催される「オペラ講演」及び「文化事業」への「後援」又は「協力」の名義貸し。

【ボランティア組織の活動への協力】

ドナルド・キーン・センター柏崎の日々の運営に協力していただいているボランティア組織
のイベント活動への協力及びボランティアの皆様の協力を得ることで当センターの周
知と集客につなげる。

（主な協力内容）場所の提供、HP等での告知、イベント参加者の展示見学希望者への団
体割引適用

（計画されているイベント等）

お茶会（春）

ロビー展示会（年6回計画）

生花等各種講座

（協力依頼内容）展示案内、ポスター配布等イベント広報活動（FMピッカラ「ドナルド・
キーンの世界」への協力含め）、各種イベントの計画実行、センター主
催イベントの実行委員参加、他

【褒賞事業への取り組み】

ドナルド・キーン先生の研究の功績を顕彰及び次世代の育成を目的とした「褒賞」事業を
推進する。

本年度の事業においては、以下の活動を開始する予定です。

●2019年度計画

- ①理事懇談会の開催（2～3回）
 - ・褒賞事業内容案及び事業実施の為の組織案作成
 - ・パートナー企業の検討
 - ・外部準備委員案の作成提案
 - ・理事会への進行状況の報告
- ②有識者による外部準備委員会の開催（2回）
 - ・褒賞事業の実施要項等の作成
- ③調査研究費として、予算計上（1,000千円）

(3) 文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上及び心身の健全な発展に寄与する。

① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的：文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

● 2019年度計画

本年度においても、例年通り実施いたします。

- ・ 予算 文化芸能振興助成事業 100千円 体育等振興助成事業 100千円
- ・ 対象 各事業とも1件ずつとする。
- ・ 2019年3月理事会にて、公募の承認
- ・ HPにて公募（3月～4月）
- ・ 5月開催の理事会選考・承認
- ・ 該当団体に助成金の給付

② 外国人留学生への研究助成事業

目的：次世代を担う外国人日本文学及び日本文化研究者の育成に貢献する。

● 2019年度計画

本年度においては、運営資金・運営要員の不足という実情を踏まえ、以下の活動を開始いたします。

- ・ 研究助成のプログラム内容の作成
- ・ 優秀な外国人留学生の選考及び受入れ先となる団体の選定
(候補：東京日本語学校、国際交流基金等)
- ・ 理事会への進行状況の報告

(4) 公益目的事業に関連する物品販売（収益事業）

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用商品として製作したオリジナルグッズやキーン先生関連の著作本や翻訳本をセンター内にて販売します。

販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ（キーン先生直筆）を印刷した商品の販売

キーン先生及び関連の著作本・翻訳本の販売

目標値

購入者目標人数 440人

(2,000人×22.0%：2018年度の購入者比率実績より)

事業収入目標額 616,000円

(440人×1,400円：2018年度の1人当購入金額実績より)

(5) 管理部門の計画

- ① 事務局内人材（学芸員）及び施設管理者の育成。
- ② 安定した財団運営のための事業資金の調達と資産の整備。
- ③ 地元主導、地元への貢献体制の確立。
- ④ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「2019年度収支予算」は次項に記載。